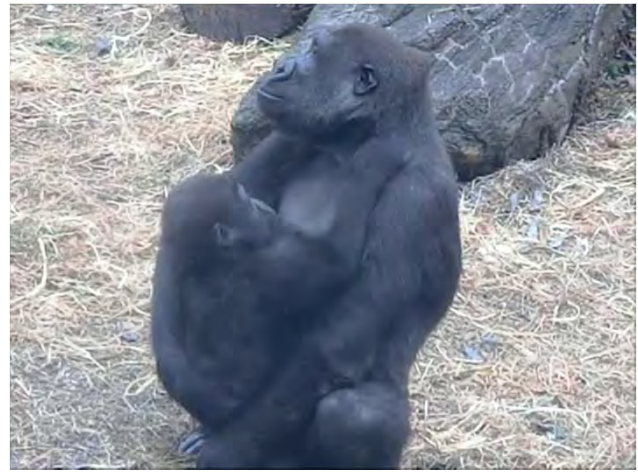


推薦する取り組み	園館名
ニシローランドゴリラ展示(屋外・屋内)における、操作性豊かな自然物の供給	上野動物園

## 推薦理由

ニシローランドゴリラのモモカ(2009年11月生まれ)、コモモ(2013年4月生まれ)を含む「ハオコグループ」では、肉体的発達を支える操作性のある多様な自然物(切り株、タケ、ササ、植樹されている植物、毎日与えられる枝葉)、ホースやロープなどの人工物は、手指のマニピュレーションや顎の発達はもちろん、あらゆる筋力の発達と俊敏性を促し、遊びの内容に多様な展開をもたらしている。もう一方のムサシグループでも、同様な豊富な自然物が用意されており、それぞれの毎日の暮らしに変化を与えている。葉のついた枝は、食餌としての役割にみならず、引きずり行動や、ちぎったあとの枝を口にくわえて歩く、ゴリラ特有の行動発現にも役立っており、毎日のこれらの新鮮な自然物の採集・準備・注意深い給与等が、ゴリラ全ての個体の福祉実現に役立っていると考えられる。









推薦する取り組み	園館名
ゴリラ「食事が体を作っている」	上野動物園

## 推薦理由

以前は、くだもの、根菜など高カロリーの食べ物を大量に与え、時には、クリームパンなど糖分過多になるものまで与えていた時代があった。上野動物園では、野生の食生活や海外動物園のエサを参考に、カロリー計算に基づいたエサを作り与えるようになった。そのために、減量に成功して、ゴリラの運動量にみあった体重になりつつある。また、夜間は、各々を個室に入れていた生活を変更して、個室の扉を明け放ち、群れでの生活が24時間できるようにした。このため、群れ生活をする本来のゴリラらしい生活ができるようになってきた。昼間のエサは、外の放飼場に隠す、撒くなどして、全員に行き渡るように配慮している。ヨーグルトもカロリーがないものを選択しており、細かいところまで、神経が行き渡っている。「食事が体を作っている」という基本を理解して、今後も、健康な群れ作りをめざしていくようだ。

